

*風しんの予防接種（第5期）は、抗体検査の結果十分な量の抗体がない方が定期接種の対象となります。接種前に必ずよくお読みください。

風しんの予防接種（第5期）についての説明書

【対象者】風しんの抗体検査の結果、「抗体価が不十分」だった人

【持ち物】クーポン券、抗体検査結果通知、本人確認書類（免許証、保険証など本人と確認できるもの）

【接種回数】1回

接種後は予防接種済証を発行します。予防接種済証は予防接種を受けたことを証明するものです。大切に保管してください。

【ワクチン】MR（麻しん風しん混合）ワクチン

1. 風しん予防接種の効果

MR ワクチンは麻しんウイルス及び風しんウイルスを弱毒化して作った生ワクチンです。ウイルスが体内で増えますが、予防接種を受けた人から周りの人に感染することはありません。

風しんにかかった妊婦からは心臓の異常、白内障、網膜症、聴力障害、知能障害などがある先天性風しん症候群という先天的な障害を持つ児が生まれることがあります。感染を拡大させないためには、社会全体が免疫を持つことが重要です。

2. MR ワクチン予防接種の副反応

主な副反応は、発熱と発疹です。他の副反応として、注射部位の発赤・腫脹（はれ）、硬結（しこり）などの局所反応、じんましん、リンパ節腫脹、関節痛などがみられます。これまでの麻しんワクチン、風しんワクチンの副反応のデータから、アナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、脳炎、けいれんなどの副作用がまれに生じる可能性もあります。

※「アナフィラキシー」というのは通常接種後30分以内に起こるひどいアレルギー反応のことです。汗がたくさん出る、顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出るほか、はきけ、嘔吐、声が出にくい、息が苦しいなどの症状やショック状態になるような、はげしい全身反応のことです。

3. 接種を受けるときの注意

①MR ワクチン予防接種の必要性や副反応についてわからないことや気になることがあれば、予防接種を受ける前に担当の医師に質問しましょう。

②予診票は接種する医師への大切な情報です。責任を持って正確に記入するようにしましょう。

4. 予防接種を受けることができない人

- ①明らかに発熱（通常体温が37.5℃を超える場合）している人
- ②重篤な急性疾患にかかっている人
- ③過去に麻しん風しん混合ワクチン予防接種で、アナフィラキシーを起こしたことがある人
- ④その他、医師が不適切な状態と判断した人

5. 予防接種を受ける際に注意を要する人

- ①心臓病、腎臓病、肝臓病、血液の病気や発育障害などで治療を受けている人
- ②今までの予防接種で、接種後2日以内に発熱、発疹などのアレルギーと思われる異常がみられた人
- ③今までにけいれんを起こしたことがある人
- ④今までに免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人
- ⑤今までに薬の投与や、MR ワクチン予防接種の成分に対して、アレルギーがあるといわれたことのある人

6. 予防接種を受けた後の注意事項

- ①予防接種を受けた後30分は、急な副反応が起こることがまれにあります。医療機関で過ごすか、医師とすぐに連絡をとれるようにしておきましょう。
- ②接種後、4週間は副反応の出現に注意しましょう。
- ③接種部位は清潔に保ちましょう。入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすことはやめましょう。
- ④接種当日は、いつも通りの生活をしてもかまいませんが激しい運動や大量の飲酒は避けましょう。
- ⑤万一、高熱やけいれん等の異常な症状が出た場合は、速やかに医師の診察を受けてください。

7. 予防接種健康被害救済制度

「予防接種法に基づく予防接種」と「予防接種による健康被害」との間に因果関係がある旨を厚生労働省が認定した場合、市町村長が健康被害に対する給付を行うことを定めたものです。予防接種を受けた後、万一、具合が悪くなった場合は、医師に相談しましょう。

【問合せ先】永平寺町保健センター

TEL 61-0111